

<各年次における到達目標・計画>

●幼稚園教諭二種免許状（2023年度入学生以降）

年次	到達目標・計画
1年次	<ul style="list-style-type: none"> ☑ 9月の幼稚園教育実習（第一段階）に向けて、セミナーⅠaや教育実習（事前事後指導）を通じて、教員となるための心構えを自覚し、基礎的な知識、技能を修得している。 ☑ 「領域に関する専門的事項」の各科目で、領域の学問的背景や基盤について学び、「保育内容の指導法」の各科目において、具体的な場面を想定して保育を構想する方法を身につける。発達心理学を通して幼児について理解し、保育・教育課程論、教育原理（教育制度を含む）などを通して、幼児期における教育の役割や教育課程の意義について理解している。 ☑ 9月の幼稚園教育実習（第一段階）は、主に観察・参加実習であり、幼稚園の生活に参加し、幼児への理解を深めるとともに、幼稚園の機能とそこでの幼稚園教諭の職務について理解を深めている。 ☑ 実習の反省を元に、個々人の課題を発見し、後期の科目に新たな目標を持って取り組んでいる。 ☑ 後期にはセミナーⅠbや「保育内容の指導法」の各科目によって実習で学んだ実践力をより確実なものにする。
2年次	<ul style="list-style-type: none"> ☑ 1年次の実習で得られた個々人の課題を克服するとともに、9月の幼稚園教育実習（第二段階）に向けてセミナーⅡaや教育実習（事前事後指導）を通じて、より実践的な技術を会得している。 ☑ 教育方法の理論と実践や「保育内容の指導法」の各科目などを通して、さらに個々人の技術を磨き、幼稚園の現場での実践力を身に付けている。 ☑ 保育相談（幼児理解の理論・方法を含む）などを通して、幼児や幼児を取り巻く様々な問題を理解している。 ☑ 9月の幼稚園教育実習（第二段階）は、主に参加・責任実習であり、幼稚園での保育を実際に実践し、幼稚園教諭として必要な資質・能力・技術を修得している。 ☑ この実習の反省を元に、主に保育・教職実践演習（幼稚園）において幼稚園教諭としての課題を発見し、卒業後すぐに教諭として活躍できる能力を会得している。 ☑ 2年次最後の卒業研究発表を通して、企画運営能力、コミュニケーション能力、表現力等の向上を図り、幼稚園教諭に必要な資質および社会人としての責任感を身に付けている。